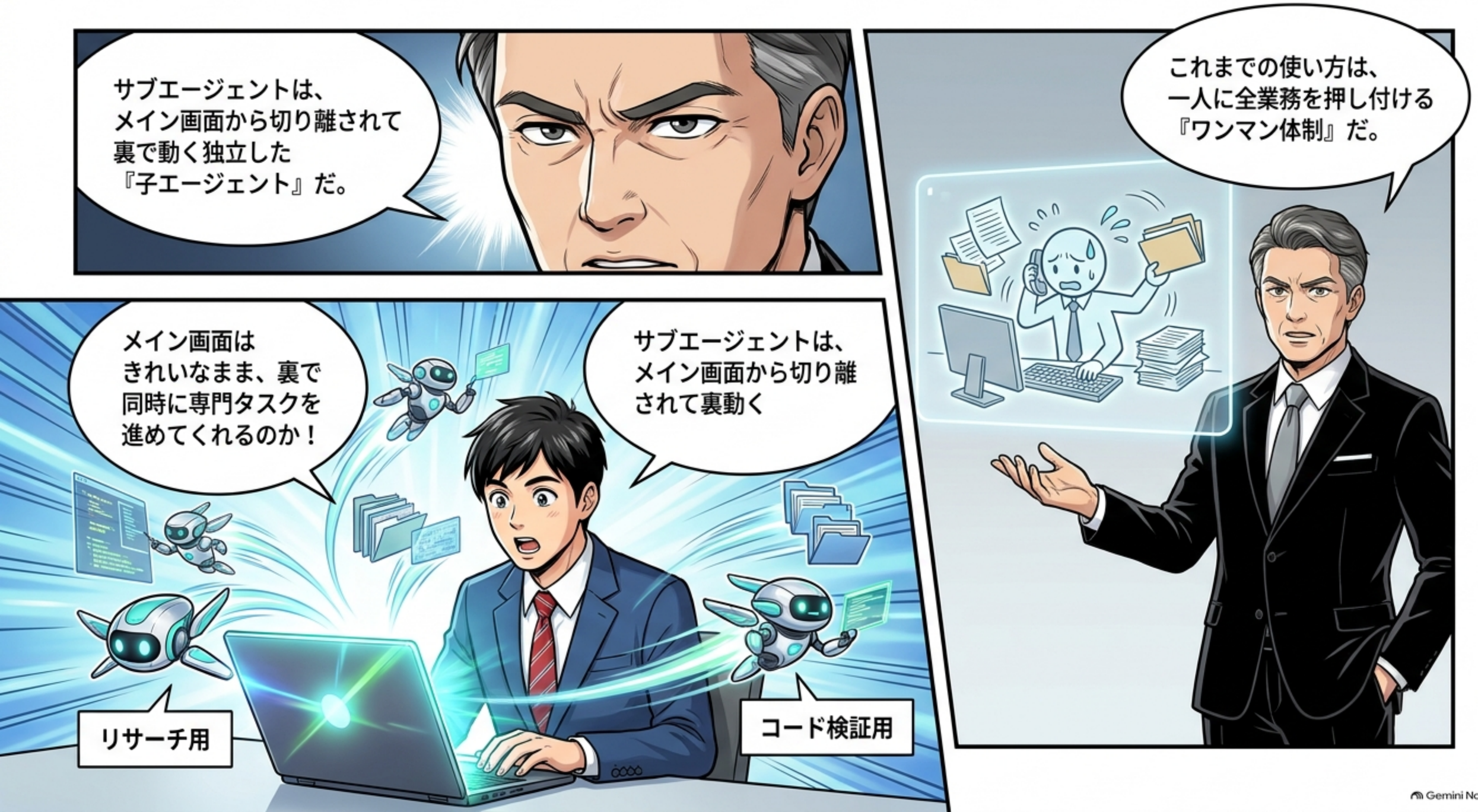

ああっ！
またAIが前の指示を忘れた！
しかも処理待ちで画面が
他の作業が進まない！
1つのチャット画面に
すべてを詰め込んでいるな？
ワーキングメモリのパンク、
パンク、
『Lost in the Middle』現象だ。
君の作業スピードを
10倍にする
『サブエージェント』を
教えよう。
Gemini Notebook

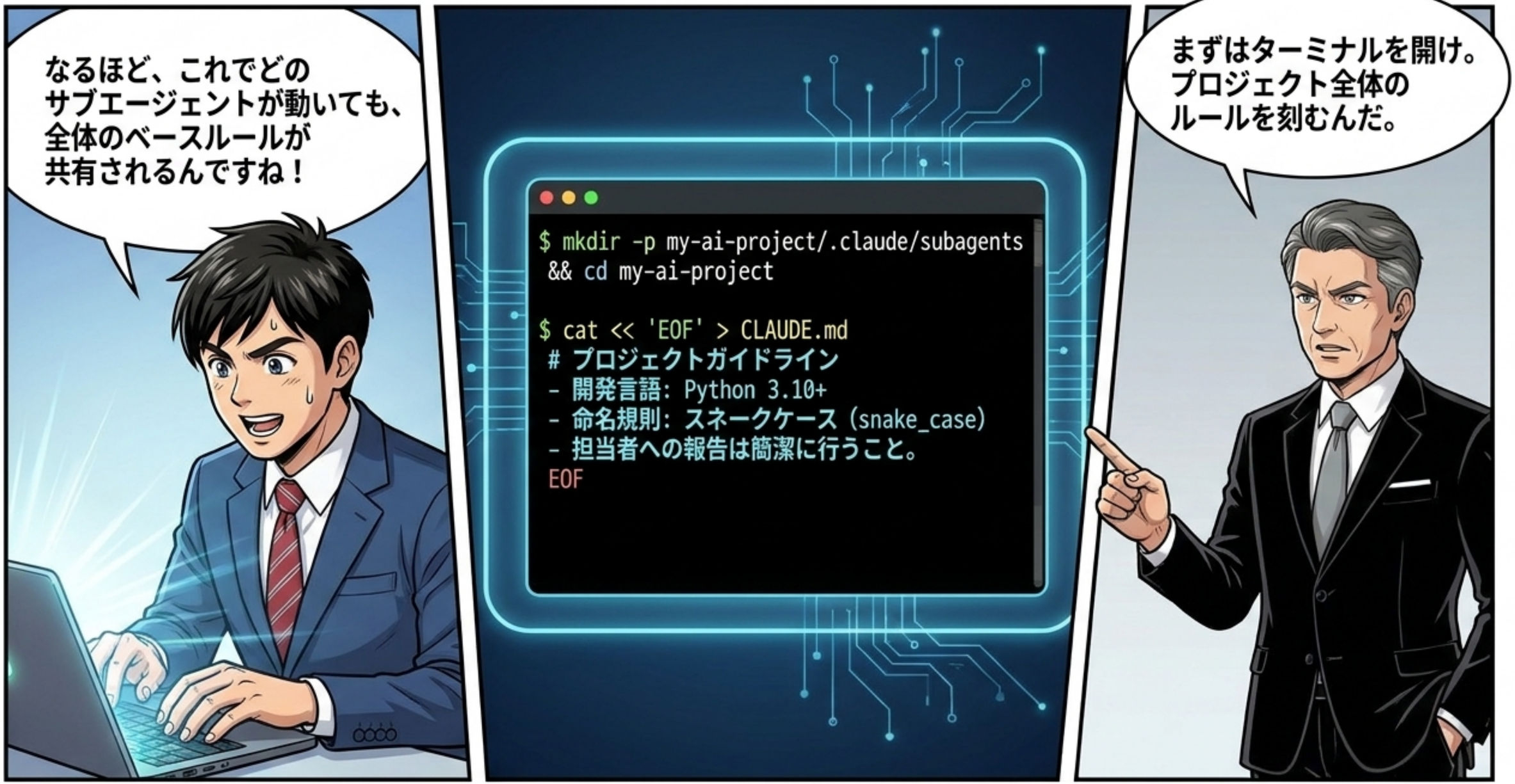


Gemini Notebook



	メインセッション（親）	サブエージェント（子）
役割	指揮官：全体の指揮、 最終成果物の統合	専門部隊： 特定タスクの自律実行
コンテキスト	常にクリーン。 目的・決定事項のみ保持	最小限の領域に限定。 完了後に隔離・破棄
実行モデル	ユーザーとの直接対話	定義ファイル (フロントマター)に従う バックグラウンド処理

Gemini Notebook



Gemini Notebook

```
---
name: researcher
description: ドキュメントを解析し要約する専門サブエージェント
effort: medium
---

# リサーチ専門サブエージェントの指示書

## 実行ルール
1. 資料を読み込み、ポイントを3つに抽出すること。
2. 作話（ハルシネーション）を避け、事実のみを記述すること。
```

次に『子エージェント』の設計図だ。
Markdownの冒頭に『フロントマター』を書く。





『name』で呼び出し名、『effort』で思考量を決めて、その下に具体的な実行ルールを書くんですね。

Gemini Notebook

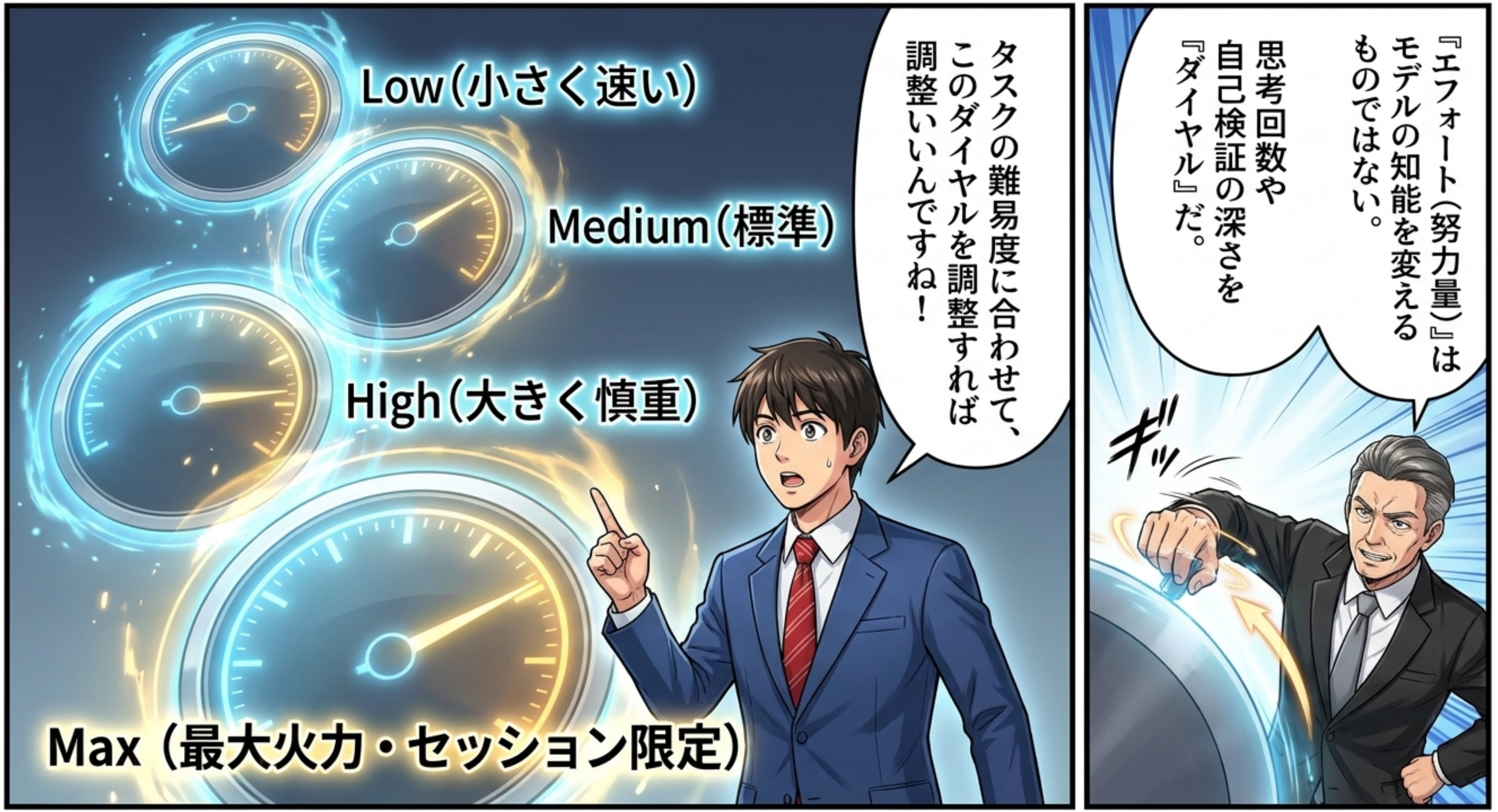








Gemini Notebook



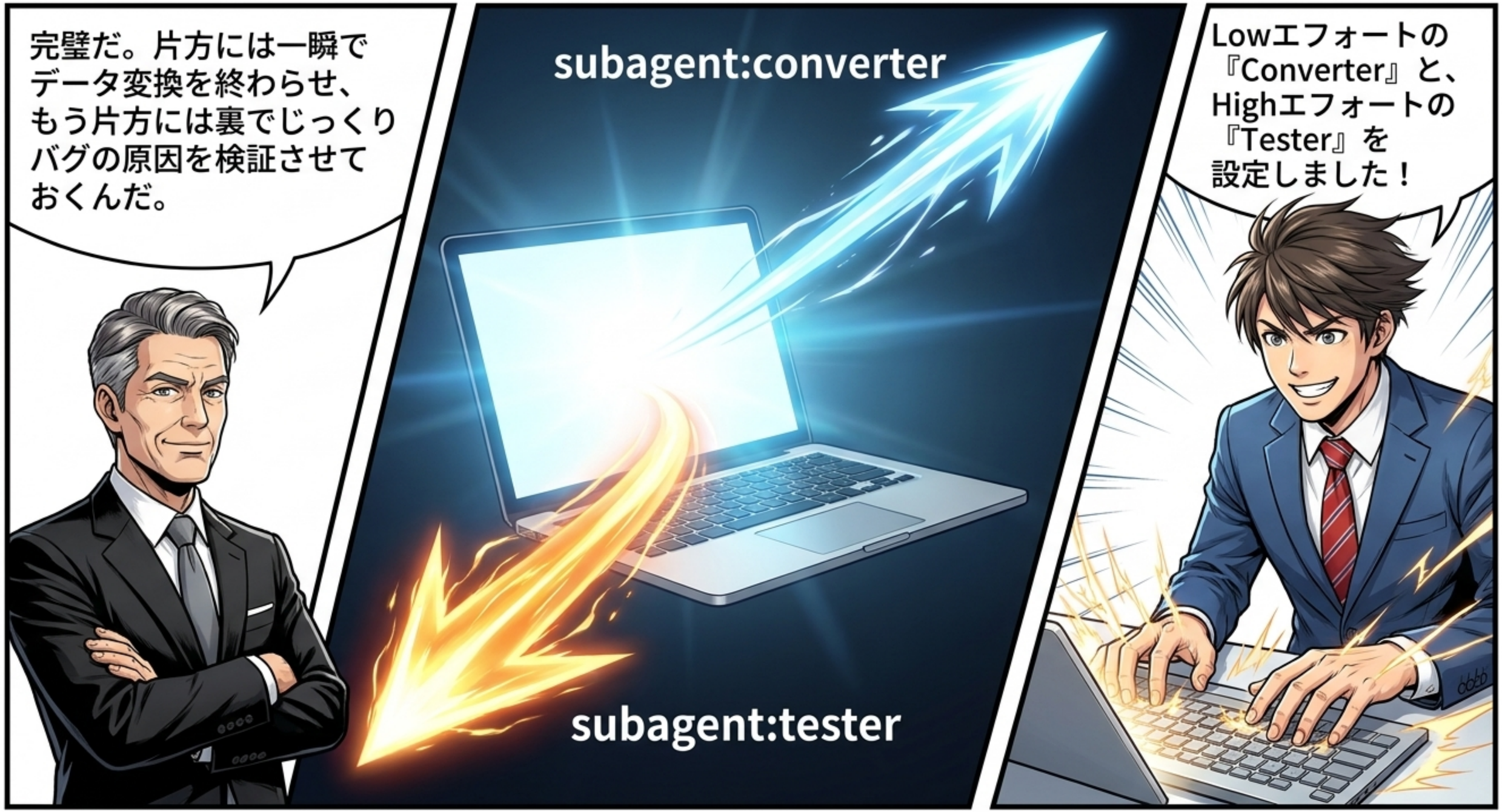
Gemini Notebook

Effort Level Optimization Guide

1		**【Low】** 最小限の思考・即座に返却。 適したタスク：単純フォーマット変換、短い要約
2		**【Medium (デフォルト)】** バランス型。 適したタスク：通常コーディング、単一ファイルの修正
3		**【High】** 多い思考と念入りな自己検証。 適したタスク：複雑なリファクタリング、詳細な検証
4		**【Max】** 繰り返し多角的に実施。 適したタスク：最上級の精度が要求されるデバッグ（※セッション限定設定）



Gemini Notebook

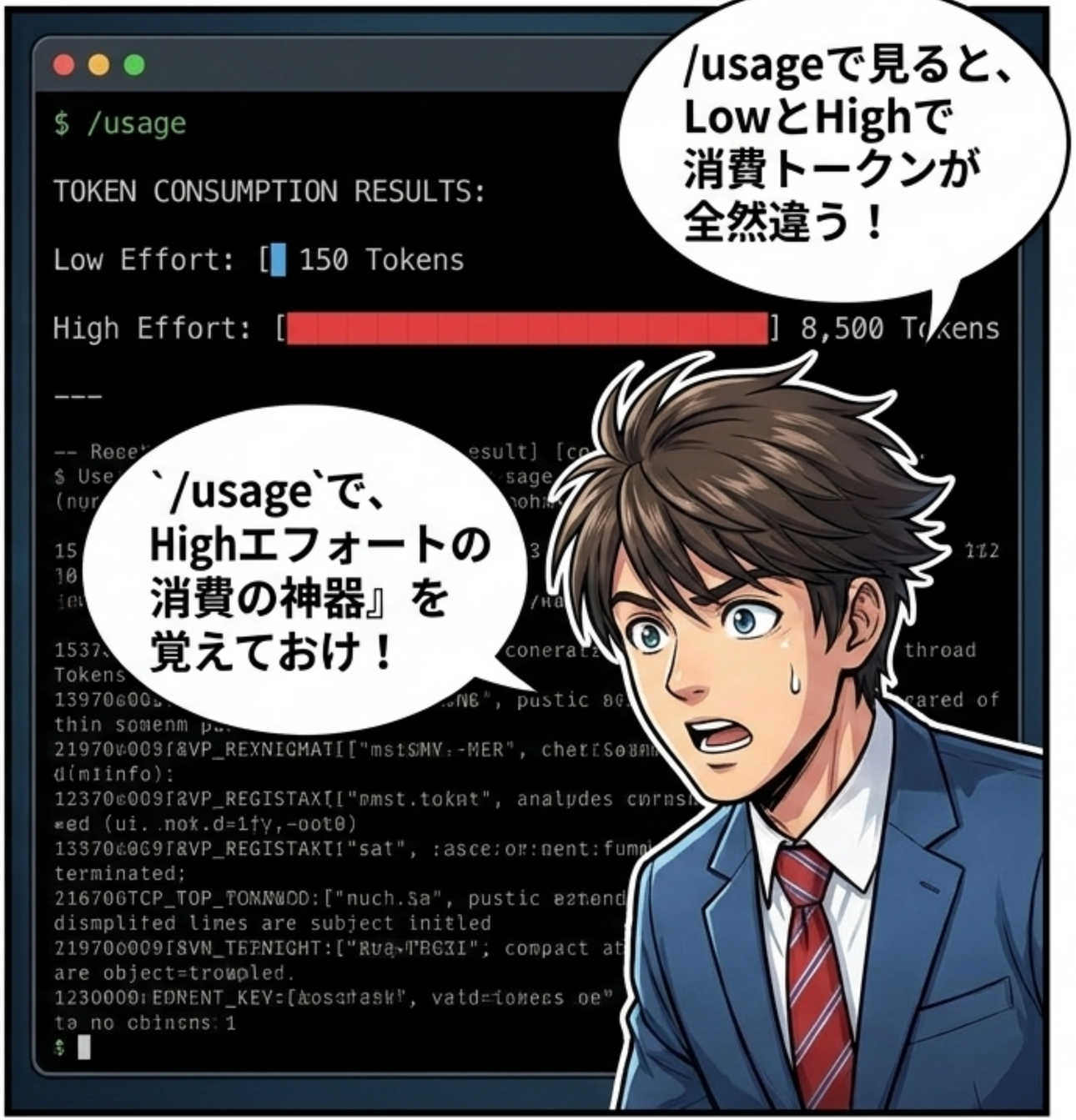


Gemini Notebook

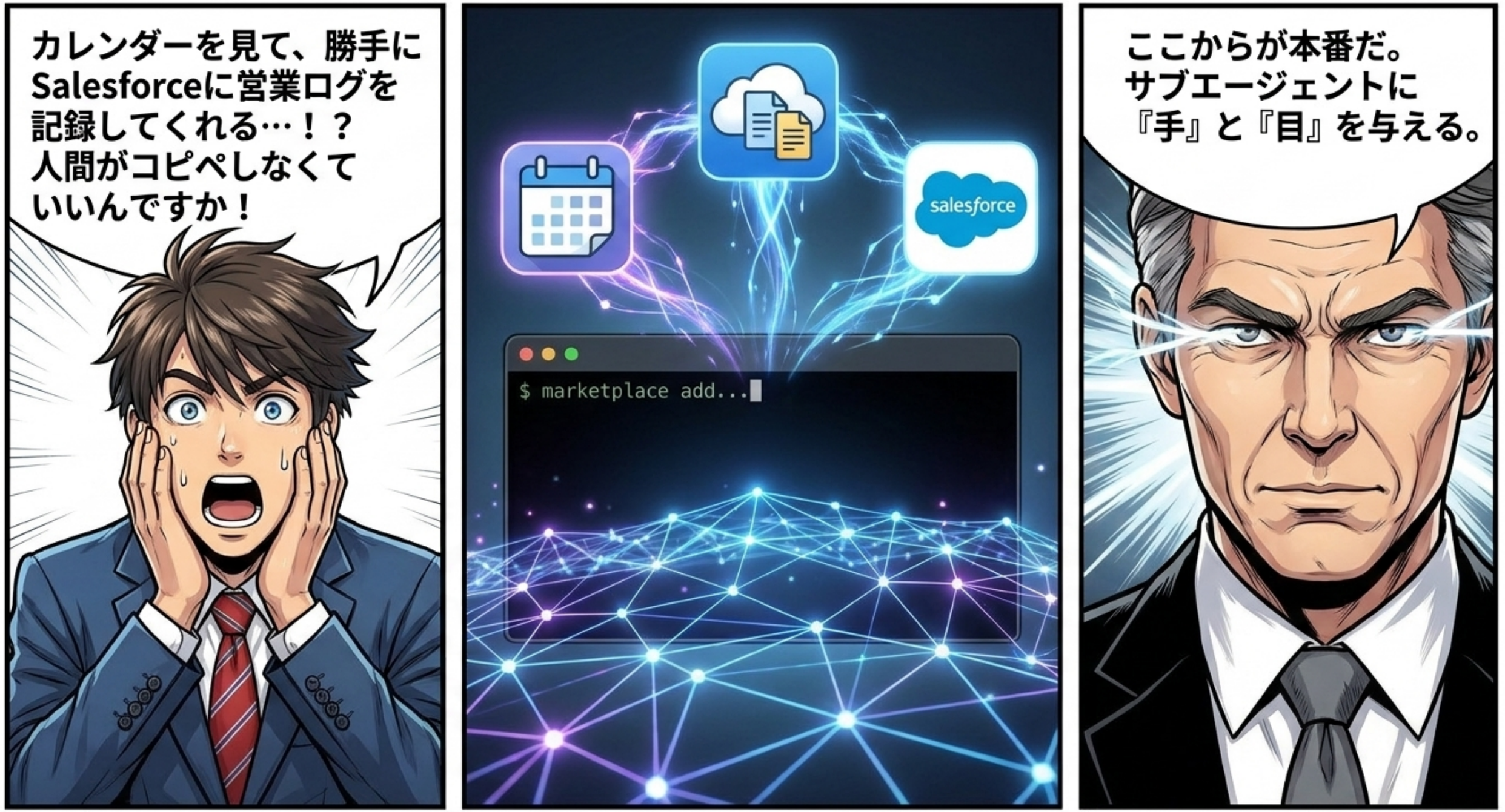


COMMAND CHEAT SHEET

- /context：現在のワーキングメモリの消費状況を確認。
- /compact：進行中の文脈を維持したまま要約・圧縮し、空きを確保。
- /clear ：過去ログを消去し、完全にクリーンな状態で新規作業へ。



Gemini Notebook



Gemini Notebook



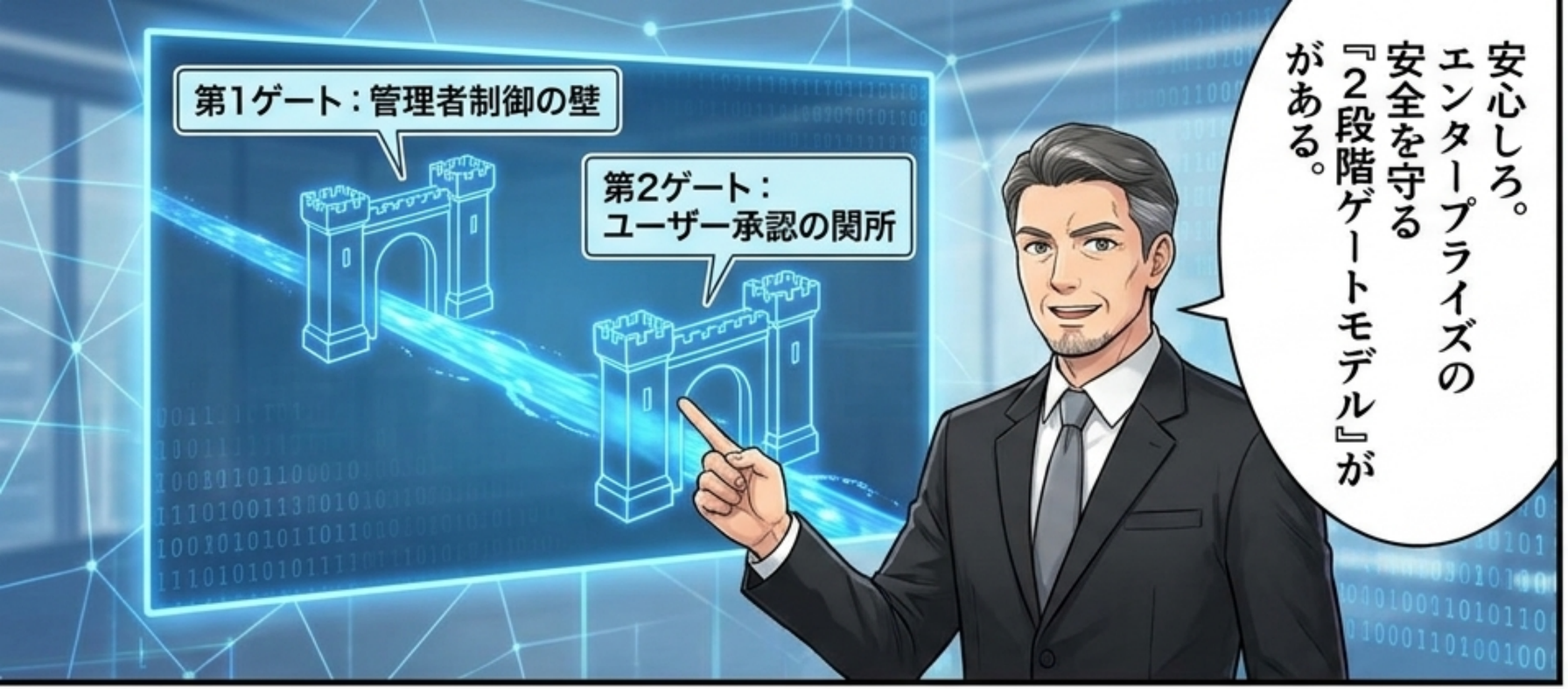


【ヘルスケア連携】
医療標準規格（HL7 FHIR R4）に基づき、
複雑なリソース構造や識別コードを検証・自動変換。



【ライフサイエンス】
公開データベースから解析データを取得し、Nextflowで
のサンプルシート生成からデプロイまでを自動化。

Gemini Notebook







Gemini Notebook





Gemini Notebook

```
mkdir -p .claude/subagents && cat << 'EOF' >
.claude/subagents/doc_builder.md
---
name: doc_builder
description: プロジェクト構成を解析しMarkdownガイドを作成する
専門サブエージェント
effort: low
---
あなたはテクニカルライティングの専門家です。プロジェクト構造を分
析し、ドキュメントを出力してください。
EOF

claude "subagent:doc_builder カレントディレクトリの構造を確認
し、『クイックスタートガイド.md』を作成してください。"
```



作業スピードが10倍になる快感を、今すぐ体感せよ！

Gemini Notebook